



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和7年4月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

### ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

#### ◆注意◆

- ・お1人様、月1回のみのお受講となります。
- ・令和7年4月以降の認定産業医研修会をお申し込みされる産業医の方は**医師会会員情報システム(MAMIS(マミス))の登録が必須**となります。
- ・令和7年4月以降の単位付とはMAMISにより行います。**単位シールの現物配付は禁止**となります。
- ・MAMIS対応のため、ホームページの利用者登録に新たに**「生年月日(西暦)」「性別」「医籍登録番号」**が必要となりましたので、御登録をお願いします。

日医認定産業医研修(令和7年4月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
3月5日(水)	10時～	4月2日(水)	14時～16時	メンタルヘルス不調者の職場復帰支援	専門2
	10時30分～	4月4日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3
	11時～	4月7日(月)	14時～16時	労働安全衛生法の基礎	更新2
3月6日(木)	10時～	4月24日(木)	14時～16時	メンタルヘルスの事例検討～ストレスチェックの活用～	実地2
	10時30分～	4月25日(金)	14時～16時	労働安全衛生法の制定と変遷～法令の読み方を含めて～	専門2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
4月2日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 3月5日(水) 10時～	<b>メンタルヘルス不調者の職場復帰支援</b> 業種によってはメンタルヘルス不調による1ヶ月以上の長期欠勤者が1%を超えるような状況となつてきている。 復帰支援のための参考ツールとしては「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き」があり、活用されているが、試し出勤やリワークの活用に関してはあまり多くは触れられていない。 今回は 試し出勤やさまざまなリワークも活用した復帰支援を含めて復帰支援を考えてみる。	森田 哲也	生涯・ 専門2	55
4月4日(金) 13:30～16:30 申込受付日時 3月5日(水) 10時30分～	<b>作業環境測定方法</b> 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・ 実地3	16
4月7日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 3月5日(水) 11時～	<b>労働安全衛生法の基礎</b> 法令に基づき管理を適正に行うため、法令の読み方、法令用語、所管する官庁、罰則、最近の法令改正、留意事項等主に労働衛生分野について学びます。 なお、「令和6年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。	西村 知行	生涯・ 更新2	55
4月24日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 3月6日(木) 10時～	<b>メンタルヘルスの事例検討～ストレスチェックの活用～</b> 職場で直面するメンタルヘルスの問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいか、一緒に考えていきたいと思います。	内田 和彦	生涯・ 実地2	50
4月25日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 3月6日(木) 10時30分～	<b>労働安全衛生法の制定と変遷～法令の読み方を含めて～</b> 1972年に労働安全衛生法が制定され、その後様々なその時期のニーズに対応して改正がなされてきました。 これらを概観するとともに、読みにくい法令の読み方について解説します。	石井 義脩	生涯・ 専門2	55

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**3月3日(月)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
4月16日(水) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b>  <b>メンタルヘルス対策と心の健康づくり計画作成のポイント</b>                      職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあり、メンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。</p>	本山社会保険労務士/ 行政書士事務所所長 特定社会保険労務士・ 行政書士・公認心理師 本山 恭子	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
4月10日(木) 14:00～16:00	<p><b>労働安全衛生管理基礎講座①</b>                      「労働安全衛生法」の中で 労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「令和6年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。今回はその1回目、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのか？など労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説します。2回目(5月27日予定)は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等。3回目(6月19日予定)は、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等。4回目(7月24日予定)は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって 重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。本講座は令和6年度に実施した同名の講座と同様の内容となっておりますが、令和6年以降に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。なお、「令和6年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。</p>	中山 篤	55
4月15日(火) 14:00～16:00	<p><b>治療と仕事の両立支援～がんの両立支援の現状から、治療の継続の意味を考え、大いに活用、生きよう！～</b>                      生涯のうち、2人に1人はがんになり患するとよく言われています。もし、ご自身が精査の結果、診断をうけたらどうでしょうか。「まさか自分が…」「仕事は続けられるのかな…」「やはり辞めるしかない…」と、時に真っ白になるかも知れません。ポジティブに捉えるイメージよりネガティブなイメージが多く浮かんでくるかもしれません。“まずは辞めないで治療をしよう！”このことを多くの働く職員の皆さんにインプットされることが大事なことでしょう。不安も、怖さもありますが、やはり向き合っていける、何とかなるといイメージを伝えていきたいところです。事例を通して産業保健スタッフ等の大きな力となるための知識、気持ち、普段からのコミュニケーションを大事にする風土を作っていけるといいですね。そんな学びを一緒に考えていきましょう。</p>	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55
4月17日(木) 14:00～16:00	<p><b>元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動～対応事例～</b>                      大手印刷会社で20年以上メンタルヘルス対策に携わった経験を基に、元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動の一例を紹介します。そして、メンタルヘルス活動に携わっている担当者にとってメンタル不調者の休職中の対応から復職支援について、対応事例によるグループワークから対応方法を共有していただきます。また、ストレスによる腰痛、頭痛を予防する簡単にできる運動方法(骨ストレッチ)も紹介します。</p>	中災防安全衛生エキスパート スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	55
4月18日(金) 14:00～16:00	<p><b>セルフケア支援にまつわるエトセトラ ～実践とセルフケア支援のツボとコツとを結ぶ～</b>                      日頃の実践をセルフケアやセルフケア支援の視点から振り返ります。両立支援におけるかかわり方にも通じる内容となっております。</p>	松島 尚子	29

<p>4月22日(火) 14:00～16:00</p>	<p><b>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</b></p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。</p>	<p>廣川 進</p>	<p>55</p>
<p>4月23日(水) 14:00～16:00</p>	<p><b>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～エイジフレンドリーガイドラインとフレイル、ロコモ～</b></p> <p>休業4日以上死傷者数のうち50歳以上の高齢労働者が半数以上を占めています。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下しており、高齢になるほど転倒災害の発生率が高くなることに影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しています。最近では、転倒を予防するために、フレイル、ロコモーションシンドローム(ロコモ)予防を意識した健康づくり活動が重要視されてきています。これらの要点と留意事項を説明します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>55</p>